

## 兵庫県医師会医療支援チーム（第18陣）「宮城県災害支援現地報告」

神戸市中央区医師会 野澤 真人

4月のはじめに医療支援チーム参加の連絡を頂き、テレビや新聞で現地の状況を見聞きする中で4月26日の出発の日を迎えました。17陣までは山形空港経由で石巻市へ向かっていましたが、今回より復興した仙台空港より石巻市に入るルートに変更になりました。また石巻市での救護所・避難所の状況も刻々と変わっていました。避難所は次第に人数が減少しており統合・閉鎖方向にある避難所もあります。それでもまだ100人単位での被災者がおられる所が多数残っています。多くの方が長期間続いている避難所生活の中で、体力的・精神的な疲労の蓄積の影響を強く受け体調を崩している印象でした。疾患では震災直後と違い、繰り返す上気道炎症上・続く咳・頭痛・腹痛・下痢など緊急性がない疾患が主でした。しかし、このような状況が長期に及ぶと重大な疾患につながるものと思われます。何とか一日でも早くもとの生活を取り戻して頂くことが最良の方法ですが、それまでに重大なことが起こってしまったらどうするか、どの様に予防するか。今回、避難所の方を対象にAED講習会を行いました。また予防ということであると、救護所ではなく地元の医療機関で同じ先生に継続してみて頂く事が必要と思われる。その点では救護所での医療も必要ですが、地元医療機関の情報を把握し患者さんに情報を提供すること、地元医療者に対するサポートが重要になってくるのではないかと思います。

